

(2) 各県における取組・報告

【 医師バンクについて(実績含む)】

(1) 福井県ドクターバンク

- ・正式にドクターバンクという制度を持っているわけではない。
- ・県内医療機関での勤務に关心を持つ県外医師の勧誘活動を H19 年度から実施。
- ・上記の医師のリストを通称「ドクターバンク」と呼称している。

① 運営主体

福井県健康福祉部健康医療局地域医療課

(福井県医師会との連携は無し)

② 実施内容

公立・公的および政策医療を担う医療機関の紹介

公立・公的医療機関および政策医療を担う医療機関に対する医師派遣を優先する
とともに、診療科の偏在を解消することを優先する。

※公立・公的病院等 : 14 医療機関

政策医療を担う病院等 : 23 医療機関 (R6 年度から紹介開始)

③ 登録者数 (R7. 8 末現在)

29名

30 代	7名 (男 3、女 4)
40 代	5名 (男 5)
50 代	11名 (男 10、女 1)
60 代	6名 (男 6)

(専門科)

整形外科、産婦人科、神経内科、耳鼻咽喉科、消化器内科、呼吸器内科、外科、小児科、脳神経外科、
麻酔科、形成外科、循環器内科、内科

④ 活動実績

就業者 5名 (※29名の外数)

⑤ コーディネーターの有無

求職者と求人機関の間に入り、調整するコーディネーターの設置はない。

県内医療機関の求人情報を収集し、県外医師向けに民間人材紹介会社を介して
周知を行う委託事業を R6 年度から実施している。

【女性医師支援について】

◆◆◆福井県医師会の女性医師支援の状況◆◆◆ (ふくい女性医師支援センターの活動)

(1) 相談窓口の開設

月～金 9:00～17:00 (平日のみ)

女性医師支援コーディネーターによる個別相談 (TEL、メール、面談等)

- ・相談件数・・・年間数名
- ・相談内容・・・子育てと仕事の両立、院内保育所について等

(2) 医師および学生のネットワークづくり

医学生・研修医等をサポートするための会

資料1

- ・福井大学医学部にて年1回開催 (R6年度は雪のため開催中止)
- ・ワークライフバランス、専門医取得等について現役医師の経験を踏まえた講義・ディスカッション (福井県に根づいてもらえるようアピール)
- ・参加人数 30～50名程度/1回

(3) 子育て中医師のネットワークづくり

子育てドクターの会

資料2

- ・年1回実施
- ・コーディネーターによる子育てに関するミニ講座および子育て中の医師同士の交流
- ・コーディネーターによるアドバイスや情報提供
- ・参加者10名前後/1回
- ・託児支援あり

仕事と家庭を両立するために必要な支援は?

«参加者アンケート結果(R4～R6)»

【育児について】

- ・病児保育・お泊り保育・送迎支援
- ・育児代行・一時預け

【家事について】

- ・家事支援・男性の仕事と家事の両立

【職場について】

- ・男性女性関係なく相談できる環境
- ・管理職の理解、研修制度・フレックスタイム制
- ・当直のサポート(免除 OR 軽減)
- ・産休、育休の人的サポート

(4) 診療をしばらく離れた医師の復職支援

復職研修支援事業

- ・研修先(医療機関)への補助(最大3か月分)
- ・累計10回、医師8人
- ・近年は希望が無い

(5) 広報活動

- ・ドクター応援ハンドブックの作成
- ・R4年度にホームページをリニューアル
県の補助事業、子育て情報等掲載
- ・医師会会報への広告掲載

※雪のため開催中止

資料

1

参加費
無料

医学生、研修医等のための キャリアデザインシンポジウム

～あなたの将来と一緒にイメージしてみませんか？～

学生のうちにやっておいた方が良いことは？仕事と家庭の両立(ワーク・ライフ・バランス)のコツ等、先輩方からリアルな経験談やアドバイスをお聞きする絶好の機会です！

あなたの将来と一緒にイメージして、理想のロールモデルを見つけませんか？

皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

司会：福井県済生会病院 産婦人科副部長
福井県医師会女性医師支援委員会委員長 里見 裕之

*開会

*講演

① 福井大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科病棟医長 岡本 昌之 先生	
② 福井大学医学部附属病院 呼吸器内科 講師	早稲田優子先生
③ 福井大学医学部附属病院皮膚科 助教・外来医長	馬場 夏希 先生
④ 福井大学医学部附属病院 産婦人科	工藤 渉 先生

*質疑・応答

*閉会



«シンポジウムの様子»

日時

令和7年
2月4日(火)
18:30～20:30

対象者

対象者：医学生、研修医、医師



参加者には軽食&
ドリンクのお土産を
ご用意しております♪



会場

福井大学 医学部講義棟

1階 合併講義室

(吉田郡永平寺町下合月23-3)

二次元コードまたは
裏面申込書(FAX)にて
お申ください



※申込〆切：1月30日(木)
※申込無しでの当日参加も可能です！※

【お問い合わせ先】
福井県医師会
TEL: 0776-24-0387
FAX: 0776-21-6641
MAIL: keni si kai@ukui.ned.or.jp

医学生、研修医等のための キャリアデザインシンポジウム 申込書

※参加申込〆切：1月30日(木)

※ 申込無しでの当日参加も可能 ※

所属医療機関名		
参加者名		医師・研修医・学生 __年生 その他()
		医師・研修医・学生 __年生 その他()

福井県医師会宛
【FAX送信先：0776-21-6641】

子育てドクターの会参加申込書

※参加/託児申込み切：3月2日(日)

①お名前

②医療機関名

③ご連絡先

(携帯電話、メール等でご連絡がつきやすいものをお記入ください)

④託児希望 する 人 歳 男・女

 歳 男・女

 歳 男・女

しない

«申込先»

ふくい女性医師支援センター FAX:0776-21-6641

※申込み切を過ぎた場合は下記までご連絡ください

«問合先»

ふくい女性医師支援センター TEL:0776-24-5055

E-mail: fwdr-sc@fukui.med.or.jp

◆◆◆行政が行っている女性医師支援◆◆◆

- 実施主体：福井県健康福祉部健康医療局地域医療課
福井県健康福祉部こども未来課

① 復職に必要な経費および新しい働き方に関する院内セミナー開催経費の補助

- ①復職に必要な経費：学会やセミナーの参加料および受講料、旅費
専門書の購入経費
- ②新しい働き方に関する院内セミナー開催経費：
院内セミナー講師報償費や講師旅費、食料・雑費、
啓発広報物、セミナーア会場借上げ料

② ふく育さん、ふく育タクシー等による、仕事時の育児支援

（1）ふく育さんとは？

『ふく育さん』とは?

ふくい家庭育児サポート「ふく育さん」は福井県独自のキッズ・ベビーシッターの呼称です。

『ふく育さん』とは?

「ふく育さん」の年齢は、幅広く、また子育て経験者も多数在籍していますので、安心してお任せください。

専門性

有資格者も在籍!

「ふく育さん」は、保育士・看護師・幼稚園教諭などの公的資格を有する者も在籍していますので、ご希望に沿った「ふく育さん」を調整いたします。

子育ての先輩

研修をしっかり行っています!

「ふく育さん」は、だいじな命(子ども)とカギ(留守宅)をお守りする責任重大なお仕事です。そのため、「家庭訪問保育」についてしっかりと勉強しています。

(2)『 ふく育さん 』 サービス料金

『 ふく育さん 』 料金表 (1 時間当たり)

	平日	土・日・祝日
18:00まで	2,000円	2,200円
18:00以降	2,300円	2,500円

※令和7年4月から福井県内の各市町で「すみずみ子育てサポート事業」による割引が受けられ、利用料金のうち、1,500円/時間 利用補助

(3)「 ふく育タクシー 」とは

- 通院、検診、買い物、お子さんのみの送迎等、妊婦さんや子育て世帯の外出をサポートするタクシーです。
- 「ふく育タクシー」は、県内のタクシー事業者等に勤務し、所定の研修を修了して、県の認定を受けたドライバーが運行します。
- 認定ドライバーには、県から「認定ドライバー証」およびタクシー車両に貼る「専用ステッカー」を交付しています。
- 利用の際は、認定ドライバーが妊婦さんや子育て世帯に配慮したサポートを行います。(荷物の介助、乗降のサポート 等)
- 車外でのケガ・損害等にも対応した保険に加入しているため、安心してご利用いただけます。

タクシー車両に貼ってある「ふく育タクシー」ステッカーが目印です



(4)「ふく育タクシー」の利用形態

利用形態	利用内容
妊 婦 利 用	妊婦さんを登録先の産婦人科医院や日常の外出先に送迎します 例：妊婦健診時の通院、陣痛時の送迎 など
親 子 利 用	保護者とお子さんとの外出をサポートします 例：買い物、通院、保育園・学校の送迎 など
お子さんの単独利用	お子さんのみを乗車させて送迎します 例：学校、塾、習い事等の送迎 など

(3) 情報交換および問題提起

「日本医師会が実施する医師偏在是正に向けた 全国広域マッチング事業に対して期待すること」

(11月4日 女性医師支援委員会より)

期待すること

・給与面などで事務手続きが頻繁になるのでコーディネーターにサポートしてほしい

・急遽困ったときに使えると良い

(医師がけがや病気等により1か月働けなくなった時に一定期間働いてもらえるようなマッチングもできるといい。)

・常勤だけでなく非常勤やシフト制のマッチングも可能になると良い

・「女性医師バンク」から「ドクターバンク」に名称変更したことで、性別に関わらず幅広いマッチングを期待したい

意見・課題

・福井県医師会は、バンクがないため今すぐにバンク立ち上げ、コーディネーターの設置は現実味がなく、現状では出来ることが少ない

・地域ドクターバンクのコーディネーター育成にかかる費用補助や支援をしてほしい

・他県の情報や規模が近い地域ドクターバンクの好事例を提示等してほしい

・事務員が「コーディネーター」、医師が「アドバイザー」となり、それぞれの役割で求職者をサポートしていくと良いのでは

・常勤でのマッチングは難しい、非常勤や空いている時間を活用して働きたい人はいる

- ・バンクそもそもその存在を知つてもらう必要がある
(求人・求職者だけでなく現役医師にも)
- ・オンライン診療や閉院情報を掲載するのも良いのでは
- ・会員名簿に載っている医師をバンクに登録し、県内で起きている医師不足を解消する
- ・病院→診療所、診療所→病院どちらからの支援も可能にする
- ・登録者への定期的なフォローが必要(コーディネーター)
- ・無料が売りだが、有料職業紹介企業の手厚さに負けているのでは
- ・行政が主ではなく、医師会が主としてバンクを持つ方が良い

今後について

まずは都道府県医師会、行政の両方にドクターバンクを設置している都道府県や、福井県と規模が似ているところから取り組みの情報収集をしていく。
その後、収集した情報を福井県に落とし込みできることから始めていきたい。
日医ドクターバンク、県医師会、行政で連携できることを考え対応していく。
求職者・求人両方にとってメリットのあるバンクになれるよう準備を進めていく。